



サガリバナ

夏の夜に一夜だけ咲く『サガリバナ』。ケニア～南アフリカ、西太平洋に分布し、日本では南西諸島(奄美大島以南)に自生しています。湿地を好み河口付近で見られることから、別名「サワフジ」とも呼ばれています。薄紅色に見える部分は無数の雄しべで、その中に一本の雌しべがあり、その下に白い花弁があるのが特徴です。葉の付け根から伸びた花茎は30cmから60cmほど垂れ下がり、ほのかに香りもします。「幸運が訪れる」という花言葉もあり、石垣島ではこの花を見に行くツアーがあるほど大人気だそうです。



当館では、毎年7月頃から咲き始め、夏の間この幻想的な花を楽しむことができます。夏の夜に咲き、一夜ではっと散る花火のような儂い花ですが、午前中の早い時間でしたら、開花した様子を見ることが出来ます。是非お越しください。

デンドロビウム

熱帯アジアゾーンでは、原種のデンドロビウムが咲いています。一般的にデンドロビウムと言いますと、冬に園芸店などに流通している「デンドロビウム ノビル系」をイメージされると思いますが、原種は東南アジアを中心に1000種以上あると言われ、花の色や形などバリエーション豊かです。日本にもセッコク(Dendrobium moniliforme)が自生しており、愛好家も多いです。デンドロビウムとは、ギリシア語の「デンドロ(木)」と「ビウム(生活する)」に由来し、野生種は主に樹上に着生しています。

当館では現在、ニューギニアなどに自生する夏咲きの大型種で、花の形がウサギの耳のように見えるスパチュラータ系と呼ばれるデンドロビウム リネアレ(Dendrobium lineale)や、デンドロビウム ラシアンテラ(Dendrobium lasianthera)が咲いています。そのほか、インドネシア、スマトラ島に自生しているデンドロビウム トバエンセ(Dendrobium tobaense)など、自然が作り出す造形的な花をお楽しみいただけます。



◀デンドロビウム
リネアレ



デンドロビウム
ラシアンテラ▶



▲デンドロビウム トバエンセ

見どころカレンダー（7月～9月）

		植物名	7月	8月	9月	
 <p>オウゴンココヤシ トーチジンジャー テイキンザクラ プルメリア ハイビスカス ワイメアエ</p>	熱帯植物	ベニヒモノキ				 <p>アリストロキア</p>
		テイキンザクラ				
		ヘリコニア ロストラタ				
		ルリエラ エレガンス				 <p>ルリタマアザミ ブロンズフェネル セイヨウニンジンボク ルドベキア マキシマ アガパンサス</p>
		サンゴバナ				
		プルメリア(インドソケイ)				
		メディニラ スペキオサ				
		トーチジンジャー				
		サガリバナ				
		ハイビスカス アーノッティアヌス				
		ハイビスカス ワイメアエ				
		アリストロキア サルバドレンシス				
		アリストロキア トリカウダタ				
		フランバナナ				
サンジャクバナナ						
オウゴンココヤシ						
中庭		セイヨウニンジンボク				
		ルリタマアザミ				
		ブロンズフェネル				
ラン		デンドロビウム リネアレ				
		デンドロビウム ラシアンテラ				
屋外		ロシアンセージ				
		ルドベキア マキシマ				
		アガパンサス				

※昨年までの開花時期から予想しております。 天候や気温などにより時期が前後する場合がございます。ご了承ください。

日々勉強

4月にコンシェルジュデビューして3ヶ月、「はじめまして」の植物ばかりで、名前を覚えるのは大変でしたが、毎日たくさんの植物と出会えることがとても幸せです。私が植物に興味を持ったのは、自宅の庭造りがきっかけでした。庭にバラを植えたいと思い、知識の無いまま3種類のバラを購入しました。バラに関する本や、庭造りの本を読み漁りましたが、剪定の仕方もわからず不安。そんなときにときわ公園ガーデニングカレッジの存在を知り、これだ!とすぐさま申し込みました。講師の先生をはじめ、たくさんのスタッフの方々に支えられ、多くのことを学ぶことができました。それ以来、植物の奥深さ、面白さを知り、もっと植物の勉強をしたいと思っていたところ、幸運にもコンシェルジュとして働くこととなり、日々植物を観察し、勉強中です。

ここ、ときわミュージアム世界を旅する植物館には現地でしか見ることのできない貴重な植物がたくさんあります。私にとっては初めての夏の植物館です。この季節にどんな植物が見られるかわくわくしています。お客様にもこのわくわくを感じていただけるよう、努力していきたいです。

(コンシェルジュ 佐々木)

